

2024年度事業報告

2024年7月 1日から
2025年3月31日まで

公益財団法人日本バウンドテニス協会

2024年度 事業報告

2024年度は、バウンドテニス事業活動が全国的に再開され、各都道府県協会におけるバウンドテニスの普及、組織および指導体制の強化を支援するとともに、各種事業活動を以下のとおり行った。

1. 全日本選手権大会及びブロック選手権大会並びに親善交流大会を開催する事業

(1) 競技スポーツとしてのバウンドテニス選手権大会

① SAGA2024国民スポーツ大会

47都道府県協会から選出された代表選手により、国民スポーツ大会公開競技として第1回目のバウンドテニス競技会が、佐賀県佐賀市にて開催された。

第78回SAGA2024国民スポーツ大会			
日 程	2024年8月24日（土）、25日（日）		
会 場	SAGAサンライズパーク SAGAプラザ		
参加者数	43都道府県より、男子48チーム、女子55チーム、計412名		

なお、第4期開催地については、開催日程など調整を行っている。

第5期(2032年から2035年)実施競技選定を見据え「ジュニアへの普及及び大会開催」、「都道府県スポーツ（体育）協会への加盟推進」、「日本スポーツ協会公認コーチ1取得促進」について各都道府県協会に要請を引き続き行った。

第3期国民スポーツ大会			
第79回	2025年	滋賀県	9月20日（土）～21日（日） 草津市、YMIT（ワイミット）アリーナ
第80回	2026年	青森県	10月3日（土）～4日（日） 十和田市、十和田市総合体育センター
第81回	2027年	宮崎県	8月28日（土）～29日（日） 都城市、早水公園体育文化センター
第4期国民スポーツ大会			
第82回	2028年	長野県	軽井沢町、軽井沢風越公園総合体育館
第83回	2029年	群馬県	高崎市、高崎アリーナ
第84回	2030年	島根県	出雲市、県立浜山体育館カミアリーナ
第85回	2031年	奈良県	平群町、総合スポーツセンター

② ブロックバウンドテニス選手権大会

全国9ブロックを単位とし、ブロック加盟都道府県協会の選手による、12種目のブロックチャンピオンを決定する選手権大会である。優勝者には、都道府県単位の推薦枠とは別に全日本選手権大会への出場権を付与している。

ブロック名	開催地	日 程	会 場	参加選手 (延べ人数)
北海道	北海道	9 月 8 日(日)	南幌町スポーツセンター	51 名
東 北	宮城県	11 月 23 日(土)	名取市民体育館	148 名
関 東	山梨県	2 月 9 日(日)	小瀬スポーツ公園体育館	152 名
北信越	長野県	11 月 3 日(日)	ホテルカワ直営 竜王総合体育館	131 名
東 海	静岡県	12 月 8 日(日)	静岡県武道館	130 名
近 畿	京都府	1 月 12 日(日)	木津川市中央体育館	125 名
中 国	広島県	12 月 1 日(日)	廿日市市まるくる大野	68 名
四 国	高知県	12 月 1 日(日)	高知市総合体育館	60 名
九 州	熊本県	12 月 7,8 日(土日)	ナースパワーアリーナ	359 名
合 計				1,224 名

(2) 生涯スポーツとしてのバウンドテニス親善交流大会

① ブロックバウンドテニス親善交流大会

全国9ブロックを単位とし、ブロック加盟都道府県協会の選手による、チーム対抗戦、B T ラリー戦、懇親会など、親睦と交流を深めることを目的にした大会である。

公益財団法人となった7月以降は、東北ブロック・北信越ブロックを除く7ブロックで開催された。

ブロック名	開催地	日 程	会 場	参加選手
北海道	北海道	7 月 7 日(日)	芦別市総合体育館	76 名
関 東	千葉県	11 月 16 日(土)	東金アリーナ	144 名
東 海	岐阜県	11 月 10 日(日)	瑞浪市民体育館	84 名
近 畿	和歌山県	9 月 29 日(日)	和歌山県立体育館	132 名
中 国	岡山県	3 月 23 日(日)	六番川水の公園体育館	144 名
四 国	香川県	7 月 21 日(日)	観音寺市立総合体育館	66 名
九 州	鹿児島県	9 月 21, 22 日(土日)	サンアリーナせんだい	180 名
合 計				826 名

(3) 世代別のバウンドテニス大会

① 第27回 日本バウンドテニスゴールド北海道大会

全国の60歳以上を対象とした親善交流大会であり、サブタイトルを「シニアチーム日本一決定戦」として、競技スポーツの面も兼ね備えた大会を本年度は北海道釧路市にて開催した。

第27回 日本バウンドテニスゴールド北海道大会	
日 程	: 2024年10月5日(土)、6日(日)
会 場	: ウインドヒルくしろスーパーアリーナ
参加者数	: 16都道府県より、23チーム、計92名参加

② ジュニア大会

(ア) ジュニア大会助成策

ジュニア大会助成策を実施し、各ブロックにおけるジュニア大会の開催実施に対する振興を図った。

(イ) 「ジュニア指導DVD」の販売

ジュニアの普及活動を各地区で推進できるよう、ジュニア指導およびジュニア普及の方法について解説したDVDを販売し、ジュニア指導者の拡充を図った。

(ウ) 「ジュニアハンドブック」の安価提供

ジュニア体験教室参加者へのバウンドテニス紹介および配布用として、ジュニアハンドブックを継続販売した。

(エ) ラケットの貸出し

体験教室開催時などに、BOUND ACE「あそぼう」を貸与している。

2. バウンドテニスの指導員、審判員の資格認定試験及び育成研修会を開催する事業

(1) 公認コーチ、公認上級指導員・公認上級審判員

都道府県における普及活動の中核となる指導者の拡充を図るため、毎年上級認定試験を開催している。本年度は、地方開催として京都会場で開催し、東京会場との2回開催となった。

また、3年に1度のコーチ資格認定試験を東京会場で開催し、コーチ8名、上級指導員4名、上級審判員10名が誕生した。

上級指導員・上級審判員認定試験（京都会場）	
日 程	: 2024年9月15日(日)
会 場	: 京都市立桃山小学校
合格者数	: 上級指導員 1名 上級審判員 6名
コーチ資格認定試験（東京会場）	
日 程	: 2024年9月23日(月・祝)
会 場	: 武蔵野の森総合スポーツプラザ サブアリーナ
合格者数	: コーチ 8名
上級指導員・上級審判員認定試験（東京会場）	
日 程	: 2025年2月2日(日)
会 場	: 府中市生涯学習センター
合格者数	: 上級指導員 3名 上級審判員 4名

- (2) 「公益財団法人日本スポーツ協会公認バウンドテニスコーチ1」 資格取得事業
 コーチ・上級指導員有資格者を対象に、「日本スポーツ協会公認バウンドテニスコーチ1」 資格の取得を勧め、専門科目免除審査講習会を開催した。

バウンドテニスコーチ1 専門科目免除審査講習会	
日 程	: 2024年9月23日 (月・祝)
会 場	: 武蔵野の森総合スポーツプラザ サブアリーナ
合格者数	: バウンドテニスコーチ1 修了者 3名

- (3) 公認指導員・公認審判員

28都道府県協会において、公認指導員・公認審判員の認定試験が、計29回開催された。

公認指導員・公認審判員合格者数	
公認指導員	21名
公認審判員	198名
合 計	219名

3. 公認スポーツ指導者養成講習会、指導員育成研修会を開催する事業

- (1) 2024年度 指導者講習会の開催

「指導方法および審判技術のスキルアップ」、「普及活動実施策の検討や提案」等の研修と発表を行うことを目的に、全国のコーチ有資格者と指導委員会委員を一堂に集め毎年開催している。

2024年度は、リモート講習を廃止し、集合参加を原則として開催した。1日目は「国民スポーツ大会について」「中学部活動地域移行改革推進について」「医科学部会からの情報提供」「コンプライアンスについて」などの講義とディスカッションを主テーマに研修をおこなった。

2日目は「シニア初心者から初級者を対象とした、動きとフォームづくり」「的確なフィードバックのコーチング」「アスリート部会による強化練習方法」などについて実技研修および各部会、プロジェクトチームに分かれて「指導員認定試験について」「審判員スキル向上策」「普及活動促進策」など研修および協議をおこなった。

2024年度指導者講習会	
日 程	: 2024年7月27日 (土)、28 (日)
会 場	: ホテルプラザ菜の花会議室 (千葉県)
受講者数	: (集合研修) 54名

4. バウンドテニスの知識と実技に関する普及活動を行う事業

- (1) バウンドテニスに関する情報の発信

バウンドテニスのさらなる認知度アップによる普及促進を図るため、ホームページのリニューアルを委託業者と準備をしてきた。2025年度中にリニューアルを完了

させる予定。

また、本年度より国民スポーツ大会が開催されたため、国民スポーツ大会のホームページに掲載した。

(2) 都道府県協会、有資格者、一般愛好者への活動サポート

- ① 静岡県、広島県へ講師派遣を実施し、指導者の指導力向上のサポートを行った。
- ② 各地域サークルの活性化、中級者への指導力向上をサポートするために、審判用(1種)、指導員用DVD(3種)を継続販売した。
- ③ バウンドテニスの告知・紹介用パンフレット「三つ折りパンフレット」の助成をおこなった。

(3) バウンドテニスに係る競技環境の整備

① ブロック奨励策

競技人口拡大の拠点となるサークルの新設、および会員数の拡大による協会組織の強化を目的に、引き続き「ブロック奨励策」を実施した。2024年度の奨励策結果報告と表彰については、2025年度第1回定時理事会の席上でおこなう。

5. 中央省庁及び全国組織の団体が主催するスポーツの行事祭典への参加協力を行う事業

(1) ねんりんピック鳥取2024

厚生労働省、開催都道府県が主催し、スポーツ庁が共催するねんりんピックは、60歳以上を中心とした国民の健康保持・増進、社会参加、生きがいを高めることを目指す、スポーツや文化の祭典である。

ねんりんピック鳥取2024	
日 程	: 2024年10月20日(日)、21(月)
会 場	: 鳥取県江府町運動公園 総合体育館
参加者数	: 20都県 24チーム 152名

6. スポーツ団体のガバナンスコード適合性自己説明への取り組み

- (1) 2021年に適合性審査があり、「適合」という評価であった。引き続き自己説明公表を更新していく。
- (2) 中長期基本計画(2025年度から2029年度の5か年計画を想定)の策定作業を開始した。

以 上

財 務 諸 表

自 2024年7月 1日

至 2025年3月31日

東京都港区海岸1-10-30

公益財団法人 日本バウンドテニス協会

貸借対照表

2025年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度 2025年3月31日現在
I 資産の部	
1. 流動資産	
現金預金	20,890,971
未収入金	1,316,700
前払金	1,011,386
棚卸資産	1,659,088
流動資産合計	24,878,145
2. 固定資産	
(1) 基本財産	
現金預金	6,000,000
基本財産合計	6,000,000
固定資産合計	6,000,000
資産合計	30,878,145
II 負債の部	
1. 流動負債	
未払金	1,528,453
前受金	3,848,000
流動負債合計	5,376,453
2. 固定負債	
固定負債合計	-
負債合計	5,376,453
III 正味財産の部	
1. 指定正味財産	
寄付金	3,000,000
指定正味財産合計	3,000,000
(うち基本財産への充当額)	(-)
(うち特定資産への充当額)	(3,000,000)
2. 一般正味財産	22,501,692
(うち基本財産への充当額)	(3,000,000)
(うち特定資産への充当額)	(-)
正味財産合計	25,501,692
負債及び正味財産合計	30,878,145

正味財産増減計算書

2024年7月 1日から2025年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度 自 2024年 7月1日 至 2025年3月31日
I 一般正味財産増減の部	
1. 経常増減の部	
(1) 経常収益	
①受取会費	(0)
受取加盟分担金	0
②事業収益	(11,800,870)
受取協賛金収益	0
大会事業収益	6,814,485
資格認定事業収益	2,001,450
普及活動事業収益	2,984,935
③受取補助金等	(695,000)
受取国庫補助金	695,000
④受取寄付金	(20,000,000)
受取寄付金	20,000,000
⑤雑収益	(11,795)
受取利息	11,795
経常収益計	32,507,665
(2) 経常費用	
①事業費	(33,677,201)
渉外費	165,940
会議費	987,041
旅費交通費	3,375,829
通信費	16,090
運送費	1,207,253
什器備品費	265,100
消耗品費	3,368,278
印刷製本費	758,560
光熱水料費	9,000
賃借費	1,346,689
諸謝金	1,257,021
租税公課	6,000
支払手数料	2,499,915
支払助成金	7,774,000
委託費	10,422,685
雑費	217,800
②管理費	(3,813,405)
渉外費	114,300
会議費	56,971
旅費交通費	500,098
通信費	163,189
消耗品費	187,264
印刷製本費	22,253
租税公課	533,200
支払手数料	2,236,130
経常費用計	37,490,606
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 4,982,941
評価損益等計	-
当期経常増減額	△ 4,982,941
2. 経常外増減の部	
(1) 経常外収益	
経常外収益計	-
(2) 経常外費用	
経常外費用計	-
当期経常外増減額	-
当期一般正味財産増減額	△ 4,982,941
一般正味財産期首残高	27,484,633
一般正味財産期末残高	22,501,692
II 指定正味財産増減の部	
当期指定正味財産増減額	0
指定正味財産期首残高	3,000,000
指定正味財産期末残高	3,000,000
III 正味財産期末残高	25,501,692

正味財産増減計算書内訳表

2024年7月 1日から2025年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計		法人会計	合 計
	バウンドテニス普及事業			
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
①受取会費	(0)	(0)	(0)	
受取加盟分担金	0			0
②事業収益	(11,800,870)	(0)	(11,800,870)	
受取協賛金収益	0			0
大会事業収益	6,814,485	0	6,814,485	
資格認定事業収益	2,001,450	0	2,001,450	
普及活動事業収益	2,984,935	0	2,984,935	
③受取補助金等	(695,000)	(0)	(695,000)	
受取国庫補助金	695,000	0	695,000	
④受取寄付金	(16,186,595)	(3,813,405)	(20,000,000)	
受取寄付金	16,186,595	3,813,405	20,000,000	
⑤雑収益	(11,795)	(0)	(11,795)	
受取利息	11,795	0	11,795	
経常収益計	28,694,260	3,813,405	32,507,665	
(2) 経常費用				
①事業費	(33,677,201)	(-)	(33,677,201)	
渉外費	165,940		165,940	
会議費	987,041		987,041	
旅費交通費	3,375,829		3,375,829	
通信費	16,090		16,090	
運送費	1,207,253		1,207,253	
什器備品費	265,100		265,100	
消耗品費	3,368,278		3,368,278	
印刷製本費	758,560		758,560	
光熱水料費	9,000		9,000	
賃借費	1,346,689		1,346,689	
諸謝金	1,257,021		1,257,021	
租税公課	6,000		6,000	
支払手数料	2,499,915		2,499,915	
支払助成金	7,774,000		7,774,000	
委託費	10,422,685		10,422,685	
雑費	217,800		217,800	
②管理費	(-)	(3,813,405)	(3,813,405)	
渉外費		114,300	114,300	
会議費		56,971	56,971	
旅費交通費		500,098	500,098	
通信費		163,189	163,189	
消耗品費		187,264	187,264	
印刷製本費		22,253	22,253	
租税公課		533,200	533,200	
支払手数料		2,236,130	2,236,130	
経常費用計	33,677,201	3,813,405	37,490,606	
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 4,982,941	0	△ 4,982,941	
評価損益等計	-	-	-	
当期経常増減額	△ 4,982,941	0	△ 4,982,941	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	-	-	-	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	-	-	-	
当期経常外増減額	-	-	-	
当期一般正味財産増減額	△ 4,982,941	0	△ 4,982,941	
一般正味財産期首残高			27,484,633	
一般正味財産期末残高			22,501,692	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額			0	
指定正味財産期首残高			3,000,000	
指定正味財産期末残高			3,000,000	
III 正味財産期末残高			25,501,692	

財 務 諸 表 に 対 す る 注 記

1. 重要な会計方針

- (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
- 先入先出法による原価法によっている。
- (2) 消費税等の会計処理
- 消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
現金預金	6,000,000	-	-	6,000,000
合計	6,000,000	-	-	6,000,000

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
現金預金	6,000,000	(3,000,000)	(3,000,000)	(-)
合計	6,000,000	(3,000,000)	(3,000,000)	(-)

4. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上 の記載区分
補助金 令和6年度スポーツ振 興くじ助成	独立行政法人日本ス ポーツ振興センター	0	695,000	695,000	0	-
合計		0	695,000	695,000	0	

附 属 明 細 書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産について、財務諸表の注記に記載をしているため、記載を省略する。

2. 引当金の明細

該当なし。

財産目録

2025年3月31日現在

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	(単位：円) 金 額
(流動資産)	現金預金	手許現金	運転資金として	(20,890,971)
		普通預金 みずほ銀行京橋支店	〃	77,428
		普通預金 郵貯銀行	〃	7,401,309
		普通預金 芝信用金庫	〃	2,563,434
		普通預金 みずほ銀行京橋支店	〃	8,849,350
				1,999,450
	未収金			(1,316,700)
			山形県協会審判員徽章	2,200
			静岡県協会 書籍必携書	1,000
			福井県協会 書籍必携書	15,400
			新潟県協会 書籍必携書	11,000
	前払金		未収還付消費税	1,287,100
				(1,011,386)
			公益財団法人東京都スポーツ文化事業団 予納金・施設利用料	614,700
		武蔵野の森総合スポーツプラザ 予納金・施設利用料	121,000	
		ヤクルト商事株式会社 第43回全日本バウンドテニス選手権大会メダル製作費	187,440	
		損害保険ジャパン株式会社2025年 保険料	67,126	
棚卸資産		P C A株式会社PCAクラウド利用料 4月分	21,120	
			(1,659,088)	
	協会倉庫徽章各種	公益目的事業に供する資産	201,580	
	桜井梱包倉庫書籍・DVD	〃	1,457,508	
流動資産合計				24,878,145
(固定資産) 基本財産	現金預金			(6,000,000)
		普通預金 みずほ銀行京橋支店	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している	3,000,000
		定期預金 みずほ銀行京橋支店	〃	3,000,000
固定資産合計				6,000,000
資産合計				30,878,145
(流動負債)	未払金			(1,528,453)
			株式会社ヤクルト本社立替分 旅費交通費	4,236
			桜井梱包運輸株式会社各種資材保管 発送梱包費3月分	73,172
			宮城県バウンドテニス協会第37回宮城県バウンドテニス親善交流大会 助成金	100,000
			岡山県バウンドテニス協会第32回中国ブロックバウンドテニス選手権大会 委託費	100,000
			徳島県バウンドテニス協会第9回徳島県バウンドテニス親善交流大会 助成金	100,000
			茨城県B T ラリー戦賞金	30,000
			和歌山県B T ラリー戦賞金	20,000
			静岡県B T ラリー戦賞金	10,000
			株式会社白橋 名刺製作費	1,100
			株式会社日本アドバンスプランニング 会員管理システム保守料	395,945
			2 0 2 4 年度ブロック奨励策 助成金 北海道・関東・北信越・東海・近畿・中国・四国・九州	530,000
			2 0 2 4 年度ジュニア助成金	164,000
		前受金		
	全日本バウンドテニス選手権 参加料 9 6 2 名分			3,848,000
	流動負債合計			
負債合計				5,376,453
正味財産				25,501,692